

同窓生・関係者の皆様の ご寄付に心から感謝！！

本館修復工事が6年かけてついに完成しました。とても素敵になりました。当初、修復費用は13億8000万円の予定でしたが、最終的には18億円以上かかりました。国と道と函館市が費用の約91.5%を負担し、残り8.5%およそ1億5300万円を遺愛学院で負担しました。決して財政的には豊かではない遺愛学院ですので、同窓生の皆様に145周年の時に5000万円を目標に、ご寄付を募ったところ、総額5,170万円以上集まりました。本当に感謝です。

同窓会本部、各支部あわせて1075万5380円、本館改修工事を支える会が245万円などたくさんの寄付がありました。個人による寄付最高額は200万円で3名、100万円以上寄付して下さった方が12名いらっしゃいました。

感謝と共にまたお願いで恐縮ですが、実は、今年2月にヴォーリズ設計の築89年の講堂の天井の一部がはがれて落ち、現在使用できないでいます。生徒たちの礼拝は毎朝、体育館で立って守っています。耐震調査の結果、全く安全基準に達していないようで、修復には2年くらいかかりそうです。

さらに、1960年代に建てられた科学館・寮が築60年以上たっており改築・新築が必要になっています。

また、ホワイトハウス（旧宣教師館）の壁ですが、150周年記念式典のために壁を全面塗装しようとしたところ、大量のシロアリにやられていることがわかりました。駆除、修復の必要が出てきました。修復工事のためのお金が本当にないため、場合によってはホワイトハウス修復は断念し、解体せざるをえないかもしれません。そうならないように改めてになりますが、後輩たちのために、遺愛のために、ご寄付をお願いできればと思います。

早速、**創基150周年式典当日のお昼に、同窓会東京支部の方々が校長室にいらっしやり、東京支部の先輩たちが手作り刺繍などの販売をしたりしてコツコツ貯めてきた100万円を遺愛に寄付**して下さいました。心から感謝申し上げます。

2024年9月30日（月）



講堂工事



完成した本館



ホワイトハウスの様子